

公益社団法人 奈良県柔道整復師会様 と 弊社（奈良ベンダー株式会社）の  
**安全安心まちづくり「地域協働」の取り組み事例のご紹介**

「安全・安心」をキーワードに、志を同じくするサポート事業所がタッグを組みました。  
多様な主体がお互いの「強み」を束ねた「新しい価値」を生む共創のパートナーシップを協演。



【概要説明】本協定は、奈良県安全安心まちづくり推進サポート事業所として登録する公益社団法人 奈良県柔道整復師会及び奈良ベンダー株式会社が自主的に取り組む「防災・防犯・広報」の活動を契機とし、官・公・民の3者相互理解による信頼と協力関係に基づく連携・協働で、地域住民の関心を高めて犯罪等を減少させるなど、地域住民参加型の安全安心まちづくりに貢献することを目的としています。三宅町の地域活性化及び町民サービスの更なる向上を図るため、地域コミュニティの自助・共助をより一層高めることを目指し、平成30年10月31日 三宅町役場にて連携・協働事項についての協定書を締結しました。

## 協働に取り組む3者についての紹介

**【三宅町】** <https://www.town.miyake.lg.jp/index.html>

三宅町は奈良盆地の中央部に位置し、古くは聖徳太子が斑鳩から飛鳥へ通われたといわれている道路の一部として現存する太子道、万葉集に歌われた唯一の花である「あざさ」、社会福祉事業の先駆者といわれている忍性菩薩の生誕の地など歴史と文化が香る町です。また、京奈和自動車道の三宅 IC の設置など道路網も整備され、県内はもちろん大阪などへのアクセスも良くなってきており、今後ますます利便性の向上が見込まれています。

**【公益社団法人 奈良県柔道整復師会】** <http://www.nara-jusei.or.jp/index.html>

「柔道整復師」とは整骨院、接骨院で施術をおこなう我々の法律上の正式名称です。公益社団法人奈良県柔道整復師会は県内で唯一の柔道整復師の公益団体として、柔道整復術の医学的研究と技術の進歩発展に向けて活動しています。「公益社団法人奈良県柔道整復師会」は、営利を目的とせず公益事業を行う、国や都道府県の認可を受けた団体です。上部団体として「公益社団法人日本柔道整復師会」があり、全国的に公衆の医療、保健、福祉の増進に努めています。柔道整復師という国家資格を持つ県下4支部・約170名の会員で構成され、伝統と信用の基、安全で安心できる整骨院・接骨院を目指し研鑽、活動しています。

**【奈良ベンダー株式会社】** <https://www.naravender.com>

飲料自動販売機の地域No.1 オペレーターをめざして、お客様からの多様化するニーズにお応えするため、色々な取り組みをしております。人々にうるおいを届けている企業の責任として、会社の奏で“より役立つ憩いの場”を提案しつづけます。時代の流れに沿う環境保全活動や地域社会との共生など、様々な取り組みを行うことで、お客さまと地域社会に愛される会社として成長できるよう、これからも努めていく覚悟です。

## 【 官・公・民 協働の内容 】

民間資源の「防災・防犯・広報」で地域の自主活動を促進。

内容：＜協定締結による連携・協働の目標項目＞

- ① 地域で支え合うしくみ。
- ② 地域とつながるしくみ。
- ③ わかりやすい情報提供のしくみ。
- ④ 安全安心にくらせるしくみ。

＜連携・協働事項＞

- (1) 防災 に関すること。
- (2) 防犯 に関すること。
- (3) 広報（防災・防犯・交通安全・観光など）に関すること。

## 【 具 体 的 な 役 割 】

### ◆ 三 宅 町 ・ ・ ・ 全般にわたる指導・監修。関係機関等への連携と情報提供。

- ・ 行政機関・地域関係団体等と連携し、地域の自主的な取り組みを啓発（町広報紙での呼びかけ等）
- ・ 防犯カメラ・ ・ ・ 運用がドラインに基づく録画データ共用の連携。（警察から捜査協力があった場合の対応等）
- ・ 防災マップの掲示・音声ガイド機能の活用等、で使用する広報活動に必要な地域情報の提供と指導。

### ◆ 公益社団法人 奈良県柔道整復師会 ・ ・ ・ 平素の活動（診療・公益活動での実績）を活かした支援連携。

- ・ 大規模災害時の避難所におけるの保健医療活動支援。
- ・ 大規模災害時に実施する自販機庫内商品「備蓄飲料水」協賛の連携。（非常時作動用「予備鍵」保管等）
- ・ 振り込め詐欺防止・交通安全・ごみゼロ運動等、自ら実施している広報活動の「情報提供」。
- ・ 三宅町開催イベントの要請に応じて、座面が担架になる「レスキューベンチ」の無償貸出。
- ・ 診療で使用する外国人用会話支援パネルを参考に、コミュニケーション支援の「指差す会話パネル」製作を監修。

### ◆ 奈良ベンダー株式会社 ・ ・ ・ 付帯機能（防災・防犯・広報）付き飲料自販機による地域活動の支援。

- ・ 防災：大規模災害時に「自販機庫内商品の無償協賛」。  
「観光防災マップ」とコミュニケーション支援「5ヶ国対応・指差す会話パネル」の製作と掲示を予定。
- ・ 防犯：防犯カメラ運用がドラインに基づく「防犯カメラの機材維持と録画データ共用」の連携支援。  
自販機の環境配慮型 **LED照明**を「防犯灯」として活用することの連携支援。
- ・ 広報：「人感知センサー・音声ガイド」機能を活用した広報活動の連携支援。

# 官・公・民 が「安全・安心」をキーワードに 民間資源で【防災・防犯・広報】に取り組む 公平対等な立場で地域の課題解決に貢献。

地域の”良好な治安”を守ることは、住民生活の基本であり、あらゆる活動（家庭・経済活動・文化芸術・社会貢献等）に通じています。安全安心を確保する事は目に見えないライフラインの整備であり、社会の健全な発展のために欠かすことのできない大切なインフラであると認識し、私たちは協働で“まちづくり”に取り組み促進します。地域みなさんの自主的な参加を促すしくみにより、住民の関心を高めて地域コミュニティの自助・共助をより一層高めることを目指しています。



## 【官・公・民 3者の強みに「地域協力者」※が加わり“4方良し”の構造】

担当

三宅町

特徴(強み)

- 事業の信頼性・公共性
- 広報(地域情報)媒体
- 関連機関への連携・調整  
(警察・地域企業・団体等)
- 町内のネットワーク活用

メリット(成果)

- ・民間資源(アイデア・ノウハウ・ 인프라)で取り組む協働は活動の効率化を高めて、地域住民参加型の安全安心まちづくりに貢献できる。

公益社団法人  
奈良県柔道整復師会

- ・公益活動団体としての信頼性
- ・CSR活動の取り組み実績  
例)奈良県と防災協定を締結  
防犯・振り込め詐欺防止  
防犯カメラ設置促進の協力  
交通安全運動への取り組み  
避難所での保健医療活動

- ・団体ブランド価値の向上。
- ・CSR活動で多様なステークホルダー(行政・企業・団体等)と協働関係の構築ができる。

民間企業:飲料自販機管理業者  
奈良ベンダー株式会社

- ・民間企業のノウハウ
- ・CSR活動の取り組み実績
- ・本業を通じた社会貢献の提案  
例)災害時備蓄水の無償協賛  
防犯カメラ・防犯灯の協力  
音声ガイド機能の活用
- ・創業43年、地域密着の活動

- ・本業の自販機管理で社会貢献。自販機設置で賛同の土地オーナーの利益を確保しながら、収益の一部を社会に還元し貢献できる。

※地域協力者とは活動に参加する個人・企業・団体等を指し、自販機設置賛同の土地オーナーも地域協力者です。

CSR活動とは、法人が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動です。

## 2019年春・竣工予定 近鉄石見駅前広場・ロータリーのイメージ図



2019年・春「自販機をプラットフォームにした安全安心まちづくりの協働」を始めます。  
それは、自販機の前後左右全部が「看板」で、すべてが前向きな活動なんです。

地域住民参加型の協働は、いろいろな場面で期待されます。（町政報告や観光案内・地域情報の発信、防災への取組み・交通安全・振り込め詐欺防止運動の呼びかけ・町内イベントの案内・誘導等）



# 自分のゴミは持ち帰る 「ごみゼロ運動」実施中! 美しいまちづくりは みんなの力で



「ごみゼロ運動(ごみ持ち帰り運動)」とは  
観光地や公園、駅前などの公共施設等で  
自分のごみを捨てずに「持ち帰る」ために  
ごみ箱の撤去・ごみ袋持参を呼び掛ける  
啓発活動をする運動です。

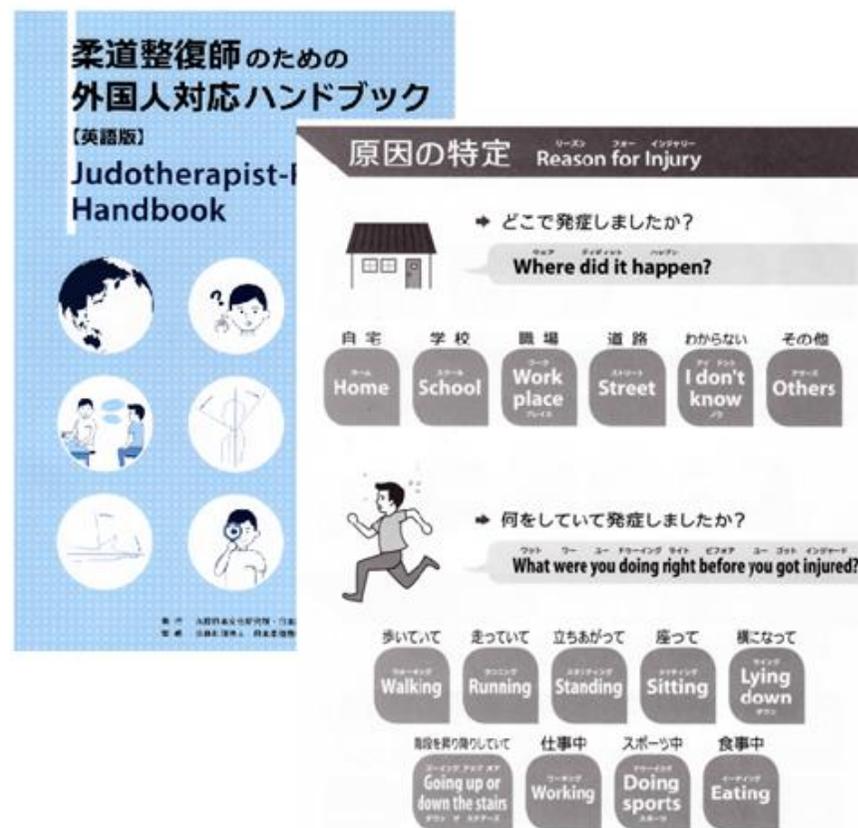
観光防災マップに併記。言葉の障がいがある場面で役立つ

高齢者・障がい者・外国人向け 会話支援

英語・韓国語・中国語など  
多言語対応の表記を予定

「指差す会話パネル」【多言語版を予定】を製作

観光名所や公的機関への地図案内に役立ちます。



上記は「監修:公益社団法人 日本柔道整復師会(※公益社団法人奈良県柔道整復師会の上部団体) 柔道整復師のための外国人対応ハンドブック」引用。避難所の保健医療支援で活用予定。  
アイデアを 観光防災マップにも応用し、実用的な魅力アップをしたいと考えています。

もしもの時・・・

**RESCUE BENCH**

**ベンチが担架に  
早変わり!**

レスキューボードベンチ

迅速な  
救助活動が  
可能です!

通常は「ベンチ」として使用。

緊急時には「担架」に早変わり!

**ベンチ + 担架**

## 「ベンチ」を「担架」にする方法

- ① 金具にあるピン(安全対策)を押しながら  
ベンチと土台を留める4箇所の金具を外します。
- ② ベンチの座面(オレンジ色のボード)を裏返して  
ベルトを解きます。
- ③ ベンチを表に戻し、要救援者をベルトで固定し、  
気をつけて搬送してください。

【レスキューボードベンチ】 緊急時に担架として使用できるベンチ

座面取り外し式



要救助者を固定するベルト付



座面裏側に固定ベルトがセットされているので、  
搬送時に要救助者をしっかり固定できます。

レスキューボードベンチ



要救助者を優しく支える座面

要救助者の体を優しく包み込むように、座面は  
なだらかなアーチ形状になっています。

ロック機構付

誤って座面が外れないよう  
にロックが付いています。



運びやすい持ち手

角を丸めた持ちやすい形状で、持ち  
手と地面が干渉しません。



本体に使い方を表示

脚部に操作方法を表示、  
とっさの時でも正しく操作できます。



※安全対策の「ロック」→「金具にあるピン」を押しながら、金具を外します。  
つまり、安全対策のピンを押さないと、金具は硬く固定されたままになる  
ため、金具を外すことができませんのでご注意ください。